

図書だより No. 3

令和4年6月 20日
 佐山小学校図書室

夏の季節がやってきました。「夏の読書祭り」が行われていることもあり、ふだんは休み時間に図書室へ行かない人も、雨の日には行くことが多いのではないのでしょうか。



今回の図書だよりでは、図書室の本を読むときの約束を紹介します。図書室の本はみんなの本なので、みんなが気をつけて大切に使いましょう。

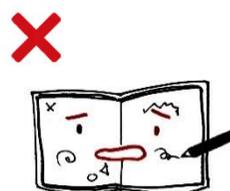
図書室の本を読むときの約束

～本の上手なあつかい方～

1. よごれた手、ぬれた手で本をさわりません。かばんに入れて持ち帰るときは、雨や水筒のお茶でぬらしてしまわないように気をつけましょう。ビニール袋に入れておくと安心です。



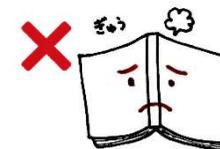
2. 本をやぶったり、本に落書きをしたりしません。調べ学習のときは手に鉛筆を持っているので、ページをめくるときによごしてしまわないように気をつけましょう。



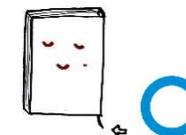
3. 読みかけの本にはしおりをはさみます。鉛筆など厚みのあるものはさみません。クリップやマグネットのしおりも使わないでください。



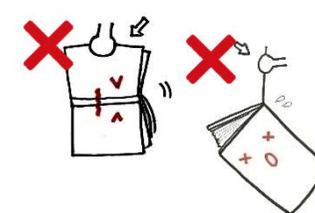
4. 本を開いたまま反対向けにしておいたり、開いたまま机の中に入れてたりしません。



5. 本についているひもは、しおりの代わりにのひもです。読まないときは本の中に入れておきます。

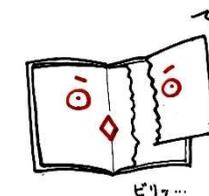


6. 本は閉じて持ちます。開いたまま持ったり、ひもを持ったりしません。



それでもやぶれてしまったら・・・

教室や家にあるのりやセロハンテープははらずに、そのまま図書室に持ってきてください。先生とボランティアさんが本のためののりとテープで修理します。



セロハンテープを使うと・・・

セロハンテープをはったところは時間がたつと茶色くなり、そのあとテープははがれてしまいます。きたなくなってしまうので、絶対に使わないでください！

セロハンテープをはっていたところが茶色くなってしまいました。

